

コラム

おかしなことが
たくさんあります。

コラム①

吹田市内の学校図書館には、十分な司書の配置がなく臨時の職員の方に何校もかけもちで管理を任せています。

市立図書館の業務も一部民間委託が進んでいます。今後は市立図書館と学校図書館業務を一括で民間委託していけば、一体管理とサービスの充実、コストの削減が図れるはずなのに、なぜ検討しないのか？

市立図書館の本は民間業者に委託し、バーコードと番号がついてコーティングした上で本が入荷してくるのに対し、学校の図書館の本は、番号付けやコーティングなども司書や学校の先生方の手作業業務になっています。理由はコーティングなしの方が10%安く本が買えるからというのですが、多少安く買えても、作業の人件費を考えればかえって割高になるはずで。

コスト意識をしっかりと持ったうえで少しでも早く新しい本を子供たちが学校で読めるようにしてあげて欲しいものです。

コラム②

別の会派の議員の議会質問で以下の事実が明らかになりました。議員の許可をいただき、問題提起しておきます。

昨年度の国からもらった予算でグリーンニューディールに使えるお金が3500万円ほどあり、吹田市の環境部はその予算で窓の遮熱などを行ったのですが、見積もりよりだいぶ安く上がり2400万円ほど予算が余りました。

今年2月8日に残った予算の使い道を検討し始め、10日には太陽光パネルの設置を決めたのですが、20日の時点でそこから入札をしていては年度末までに工事が間に合わないと判断し、24日に随意契約を決定しました。というのが理事者の説明です。

しかし、会議の記録をみると、13日には随意契約を受けた業者が打ち合わせ会議に参加し、理事者の説明より早い段階の15日にはソーラーパネルを仮抑えしていた事実がわかったのです。そして、随意契約を受けた業者の代表は市長後援会の幹部で、市長の私設秘書が元々働いていた業者でした。しかも設置したパネルは2010年に販売終了した型落ち品。相場なら700万円から高くても1000万円で設置できたといものの取り付けに2100万円もかかっています。また、他の業者に尋ねると、今回のような屋上へのソーラーパネル設置なら1～2週間で設置可能とのこと。さらに、工事の見積書を見ると明細のない合計金額だけが書いたものでした。

約2100万円の設置費用の積算根拠を議会で議員が質問しても明確な説明はなく、2400万円の予算内で業者に丸投げしたのが見て取れました。議会答弁をしたのは、環境部ではなく総務部。環境事業であまった予算を総務が庁舎整備につかったのです。また、市長の答弁は随意契約はすべきでない、といったわけのわからないものでした。

おかしなことがたくさんあります。

イベント案内

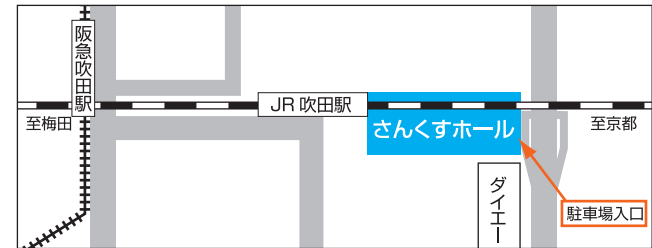
イベント① 吹田創造熟議

自分や子供の将来のことを考えたら、「吹田市はこんな町になって欲しい」。自分たちは「こんな形で市政運営に関わりたい」。「こんな学校をつくって欲しい」。

皆さんのそんな思いを「熟議」と呼ばれるワークショップの中で一緒に形にしていきたいと思います。

政治やまちづくりの知識は不問。どなたでも気軽に参加できる意見交換の中で、皆さんの声を聞かせてください！

日時：11月10日（土）13：00～17：00
会場：さんくすホール会議室3
参加費：無料
定員：20名



※事前申し込みをメールか電話、FAXにてお願いします。

イベント② 教育子育て熟議 ～子供たちの未来を考えよう～

いじめや虐待が問題となる今日の日本。「何かがおかしくなっているんじゃない？」そんな思いはありませんか。激動する国際情勢や若者の就職難。「この子達の未来はどうなるんだろう？」そんな不安はありませんか。

昔ながらの教育子育ての大切さと、これからの子供たちの未来を考えた子育てや教育のあり方を、20～30代の若い世代のパネリストと共に一緒に考える場を作りました。

勉強するという気持ちではなく、ワークショップなどを通じて共に考えるという気持ちでご参加ください!!

日時：12月16日（日）
13：00～16：30

会場：夢つながり未来館
参加費：500円



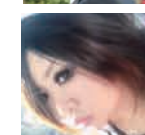
タイムテーブル

13：00～14：30 パネルディスカッション&質疑応答
14：45～16：30 教育と子育てをテーマにした参加者のワークショップ

パネラー



戸田 達昭
やまなしの翼プロジェクト代表、
第6期中央教育審議会 生涯学習分科会委員



吉澤 有香里
「わらべうたベビーマッサージインストラクター
つどいのひろばアドバイザー
若ママネットワーク「shiny☆c」代表。

イベント①・イベント② 事前申し込み連絡先

E-mail：s0803.2000@gmail.com
TEL：090-6059-8330
FAX：06-6337-6925

吹田新選会

吹田新選会通信 Vol.23

2012.09

市長はいったい何がしたいのか??

昨年の選挙や副議長の任期を終え、約1年半ぶりに議会の壇上で質問をすることができました。この間、会派の議員の質問の中に自分の意見は入れてもらっていましたが、やはり自分の言葉で質問できないと議員としての充実感がありません。そうした意味で今回は一年半分の思いを込めて、改めて市長のもつ吹田市のグランドデザインや、大阪維新の会の顧問として大阪維新の会の政策と市長の政策の乖離についてを問いました。

グランドデザインについては以下のとおりのやり取りで、開発が進んだら考えるというもの。維新の会の「グレートリセット」とは何かを聞いても、質問はかみ合わずに終わりました。

「結局何も考えはなく、ただ橋下さんの人気に乗り、政策も適当に合わせているだけなのか」と再認識させられたというのが正直な感想です。

せっかく事業見直しをし、人件費のカットをしても、単なる予算の帳尻合わせに終わるなら、デフレ下における自治体の運営としてはあまりにお粗末です。財政を健全化した暁には、ういた予算でこういうことをして市民の満足度を高めるという具体的なビジョンがなければ、予算やサービスをカットされた市民からすれば不満が残るだけでしょう。また、その財政の帳尻合わせのために、市の持つ土地(=市民の財産)もどんどん売却していくことです。吹田市の赤字レベルは他の自治体と比較すれば相当少ないのに、目先の収支バランスだけを見た全体構想のない市長の市政運営に議会はかなり反発を強めています。

「民意を受けた市長の政策だから仕方がない」といわれることもあります。私は市民の皆さんに「本当にこんな市政を望んで投票したんですか」と聞きたいと思います。

もっと、明るく前向きな記事を書きたいのですが、市議も長くやればやるほどいろいろなものが見えてきて、どうしても批判的な内容になります。申し訳ありません。

議会質問 市長の考える吹田の未来像、市政のグランドデザインを問う

【質問】 市長の目指す吹田の未来像について聞きたい。市長は今後の日本の国際社会の中での立ち位置はどういったものになるとお考えか、吹田市をどんな町にしていこうと、これからの世界の中でまた日本の中で重要な地位を占めていこうとお考えか、大きなグランドデザインや戦略をお持ちなのか聞きたい。

→ 【市長答弁】 吹田の未来像については、柔軟な財政運営を確立することで持続可能性を高め、限られた経営資源の最適化を図り、透明で開かれた市政を推進することを基本に、市民満足度の高い市政への変換を図り、真の地域主権の確立を目指していくことが私の使命。グランドデザインについては、これから続く市内の様々な開発を行う中で、どんなグランドデザインにするか検討中である。

【質問】 市長が顧問を務める大阪維新の会が主張する「グレートリセット」とは何をリセットするのか。またそれが実現すると、日本がどう変わり、吹田市民の生活がどう変わる、どう変えていきたいとお考えなのか。

→ 【市長答弁】 大阪維新の会は国、広域自治体、基礎自治体の役割を分担することを主張している。吹田市の様な基礎自治体は市民福祉の満足度向上を考えるのであって、世界の中の吹田という認識はなく、大阪都が都市間競争に勝ち抜くことを考えている。

その他の代表質問における提案

- ① 職員の新規採用を再開すべき。
- ② 市民サービスの向上のため全庁的な職員研修をすべき。
- ③ サボっている職員への厳しい処分を行うべき。
- ④ いじめや社会規範の荒廃に対応するため、大人と子供、地域社会で共有できる教育憲章を制定しよう。
- ⑤ グローバル人材の育成のため、教育ビジョンの制定は教育委員会だけに任せず、民間の経営者や学生なども入れた「(仮称)地域人材育成会議」などを設けてやっていくべき。
- ⑥ 子供の自立を促す、登山合宿やお弁当作りを企画すべき。
- ⑦ 中学生を選抜し海外研修をさせ、語学や海外情勢を学ばせるべき。
- ⑧ 道徳教育や偉人教育をもっと充実させるべき。



【連絡先】
吹田市千里山西1-37-40
かみやソウヘイ事務所
TEL：090-6059-8330
FAX：06-6385-1239
Mail：info@kamiyasohei.jp
http://www.kamiyasohei.jp

【役職】
文教産業委員会委員
都市環境防災対策特別委員会委員



山口 克也

ヤマグチ

カツヤ



【連絡先】大阪府吹田市豊津町25-12

山口克也事務所

TEL：06-6330-6721

FAX：06-6369-3734

Mail：katsuya@bigfoot.com

<http://yamaguchikatsuya.net>

【役職】

建設委員会委員

吹田操車場後等跡利用対策特別委員会委員

議会広報委員会委員

監査委員会委員

ご挨拶

暑い夏がようやく終わり、街の風景も秋めいてまいりました。体育祭や文化祭などで皆様お忙しくされていることと思います。

9月議会では質問時間の配分の関係で私の個人質問は行なえませんでした。代表質問で神谷議員が市民教育憲章の制定を提案し、市長がそれに対し議会から提案してくれば対応する旨の答弁をしたことは大きな前進で、私としては満足のいく議会でした。しかし、残念なこともありました。一つ目は、他会派の議員から質問があったもので、平成23年度における吹田市のソーラーパネル購入に関し、性能と比較して非常に高額な購入がなされていた問題です。さらにもう一つ、市の提案した損賠賠償に関し、全議員により否決されましたが、本来なら、議会に上がってはいけなような事案について、吹田市が損害賠償を支払おうとしていた問題もありました。このような事がたびたび起こると市役所の基本的なモラルの低下を心配せざるをえなくなります。

12月議会には、吹田市民病院の吹田操車場跡地への移転に関連する予算が上がって来る予定であり、国立循環器病センターの移転についても引き続き問題となります。また、北千里小学校跡地を含め、吹田市が保有する未使用の土地の売却についても議論になると思われます。このような重要な問題について、本当に全市民の利益になる判断がなされるよう、新選会の責任はますます重くなっています。今後とも皆様のご支援を宜しくお願い致します。

後藤 恭平

ゴトウ

キョウヘイ



【連絡先】吹田市西の庄町2-28

ごとうキョウヘイ事務所

TEL：06-6380-8802

FAX：06-6310-8919

Mail：info@goto-kyohei.net

<http://www.goto-kyohei.net>

【役職】

議会運営委員会委員

財政総務委員会委員

市民病院の在り方検討特別委員会副委員長

決算審査特別委員会委員

ご挨拶

9月議会から所属委員会が財政総務委員会になり、行政経営や総務といった、庁内業務を主体とする部署の職員と議論を交わすことになりました。庁内業務は職員自身ですら疑問に思うほどの過去から引き継がれた、なかなか取れない汚れのような慣習や事例があります。その汚れを洗い流す劇薬の役目を果たすべく、市民の皆さまに私は選んでいただいたということを肝に銘じ、これから1年間財政総務委員会で頑張っていきたいと思っています。

吹田市政は吹田市に擦り寄る声の大きな所にばかり耳を傾け、「財政健全化」や「受益と負担の公平性」の錦の御旗の下、市民サービスをカットしながらも正直者がバカを見る無駄使いや悪しき慣例は残り続いています。過去の報告を見ていただければ、それは決して稀有なことではないということをご理解いただけていると思います。しかし、真面目に日常を暮らす市民の声なき声こそが市民の声であり大多数であること、そしてこの耳を澄まさねば聞こえてこない声の主こそが正直者なのを私は知っています、いかなる圧力が掛かっても絶対に忘れません。

最後に、私はまだまだ力不足ではありますが、改革を断行したいと思っている一人です。苦い薬を飲まなければ患った行政は病から逃れることはできません。相当に苦しい病には相応に苦い薬が必要です。将来に渡って負担を押し付ける負荷ばかりの市政を、市民目線に耐えうる市政に変えるべく、大きな構想を持ち、良薬として邁進してまいります。

2012.9月 後藤恭平 個人質問

質問

道路には市道や私道、所有権に関わらず管理も形態は様々であり、法律も道路法や建築基準法等で様々な法区分が存在する。例えば所有が個人で管理が市の場所に個人のポールや置石がある場合の責任は誰にあるのか？

質問

岸辺駅周辺に多くの人が利用する3本の地下道がある。この地下道の整備が区画整理を行っているまちづくり用地部分以外は予算計上されておらず、3本の地下道の南側だけが現状のまま残ってしまう状態である。今後とも予算を充てる予定はないのか？

【答弁】道路公園部長

個人が所有し吹田市が認定している市道については、管理責任は本市にある。道路の管理瑕疵は経年的に見過ごされ通常有する安全性を欠いていたか、危険性が存在していたか、事故を予見できたか等、総合的に勘案して個別具体的に判断され、道路内の置石等についても、同様に判断され则认为している。

【答弁】道路公園部長

3本の地下道については、まちづくり用地内の区間に限り、新たな構造物として整備し、真新しいものとなる。しかし、ご指摘のとおり現状については充分認識をしているところであり、早急に検討していく。

ご挨拶

9月定例会において私は二つの項目について質問いたしました。いずれも私の政治の根本にかかわるものです。一点目は投票率向上のための期日前投票所の拡大(江坂、JR沿線)についてです。前回の吹田市長・市議会議員選挙の投票率は49%と有権者の二人に一人が投票を棄権している状況です。吹田新選会は石川前市議会議員と共にしがらみのない政治を実現するために市長選挙を戦いました。選挙には破れましたが私たちはその想いを受け継ぎしがらみや利権にとらわれることなく、吹田の未来のために判断し行動し続けています。今の政治を変えるには投票率を向上させるほかないので政策提案いたしました。

二点目は9月にオープンした千里ニュータウンプラザ(南千里駅下車すぐ)8階にできた平和祈念資料館についてです。是非みなさん一度足を運んでください。財政非常事態宣言をしている吹田市が年間3千万円もの予算をかけて作るような施設かと首をかしげたくなるはずです。子供達に平和の大切さを教えることはもちろん大事ですが、ただ戦争は悪いものだということではなく、なぜ戦争が起こったのかを知り、どうすれば戦争を避けられるのかを歴史からしっかりと学ぶ姿勢を養わなければなりません。この施設を引き続き維持するならば基本コンセプトからすべて変えなければならないと議会の外でも担当者と意見をぶつけ合っています。正しい歴史を学び現在の環境に感謝し未来の為に行動する。この原点に戻れば必ず街や国は良くなります。

当選させていただいてから1年半、必死に学び行動し続けています。悩むこともあります。一度覚悟を決めた身。こんな時代だからこそ持ち前の元氣と笑顔を発揮していきます。10月は決算審査、11月は予算要望そして12月定例会と年末にかけて大切な日程が目白押しですが一歩ずつでも吹田市が素敵な街になるよう尽力していきます。

2012.9月 足立将一 個人質問

質問(利便性の高い期日前投票所設置により投票率向上を)

有権者の生活実態に合わせた利便性の高い場所に期日前投票所を設けることによる投票率向上の施策が全国的にとられている。現在吹田市における期日前投票所設置箇所は吹田市役所本庁と千里市民センターのみでありいずれも阪急沿線の公共施設である。江坂駅やJR沿線駅、買い物客数の多いイズミヤ等に期日前投票所を設置し投票率向上を目指すべきではないか？

【答弁】選挙管理委員会事務局

提案いただいた江坂駅周辺については市役所の期日前投票所から一般的に歩いて暮らせるとされる生活圏半径2kmの範囲内にあり南西部に偏ることにもなる。南北9.6km東西6.4kmという地理的要素も考慮しながら有権者の利便向上のため調査、研究をしていく。

要望

提案した趣旨を理解いただいていないようなので再度説明する。わが市の期日前投票所はいずれも阪急沿線。投票日に投票に行くことができない北大阪急行沿線の駅付近あるいはJR沿線の駅付近に居住のサラリーマンが投票に行く場合交通の便からして非常にハードルが高い。通勤に利用する沿線の駅であれば足が向きやすくなるのではないかと提案であり、生活実態に合った場所への設置を積極的に考慮していただきたい。

質問(平和祈念資料館の有効活用を)

財政非常事態宣言を出している自治体が年間3千万もの費用を捻出して設置した施設という感覚が全く感じられない。何の目的で何の為に設置された施設なのか、展示からはなにひとつ伝わってこない。担当職員は十分な能力をもっているのか？

【答弁】人権文化部長

市民の平和に対する意識の掲揚を目的としている。職員は歴史科目ではないが教員免許や図書館司書の資格を持ち、在職年数も長いことから資料館運営に必要な知識は持つ。他の施設のアドバイスや研修を受けるなどスキルアップも図っている。

再質問

現在の学校教育では子供達は十分な歴史認識を養えない状況にある。だからこそ市全体で教育すべきであり、そのためには平和祈念資料館を有効に活用すべきである。担当部長としてこの施設にどのような意義があると考えているのか？

【答弁】人権平和部長

平和祈念資料室の頃より利便性も上がったため大人も子供も利用していただきたい。

足立 将一

アダチ

ノブカツ



【連絡先】吹田市南金田1-4-11-106

足立ノブカツ事務所

TEL：06-6339-6839

FAX：06-6339-6869

Mail：nobukatsu.adachi@gmail.com

<http://www.nobu8.jp>

【役職】

財政総務委員会副委員長

都市環境防災対策特別委員会委員

議会改革特別委員会副委員長

企業決算審査特別委員会委員